普通高等教育“十一五”国家级规划教材
新世纪高等学校日语专业本科生系列教材

总主编　谭晶华

日语综合教程

第六册

陈小芬　编著

前瞻性与创新性并重：
符合21世纪日语人才培养需要，引领中国日语教学潮流。

代表性与权威性兼顾：
全国20余所高校参与编写，日语界近百位专家精心奉献。

系统性与呼应性结合：
涵盖高校日语专业各类课程，形成相互呼应的有机整体。

上海外语教育出版社
SHANGHAI FOREIGN LANGUAGE EDUCATION PRESS

附光盘

普通高等教育“十一五”国家级规划教材
新世纪高等学校日语专业本科生系列教材

总主编　谭晶华

日语综合教程

第六册

陈小芬　编著

上海外语教育出版社
外教社 SHANGHAI FOREIGN LANGUAGE EDUCATION PRESS

图书在版编目（CIP）数据

日语综合教程. 第6册 / 陈小芬编著.
—上海：上海外语教育出版社，2011
（新世纪高等学校日语专业本科生系列教材）
ISBN 978-7-5446-2155-7

Ⅰ.①日… Ⅱ.①陈… Ⅲ.①日语—高等学校—教材 Ⅳ.①H36

中国版本图书馆CIP数据核字（2011）第005434号

出版发行：上海外语教育出版社
（上海外国语大学内） 邮编：200083
电　　话：021-65425300（总机）
电子邮箱：bookinfo@sflep.com.cn
网　　址：http://www.sflep.com.cn　　http://www.sflep.com
责任编辑：江龙娣

印　　刷：上海信老印刷厂
开　　本：787×1092　1/16　印张26　字数576千字
版　　次：2011年1月第1版　2011年1月第1次印刷
印　　数：8 000册

书　　号：ISBN 978-7-5446-2155-7 / H · 0964
定　　价：49.00元（附MP3光盘）
本版图书如有印装质量问题，可向本社调换

新世纪高等学校日语专业本科生系列教材编委会

总主编：

谭晶华

编　委：（以姓氏笔画为序）

王　勇	浙江工商大学
王健宜	南开大学
叶　琳	南京大学
皮细庚	上海外国语大学
许慈惠	上海外国语大学
纪太平	厦门大学
杨诎人	广东外语外贸大学
严安生	北京外国语大学
吴　侃	同济大学
吴大纲	上海外国语大学
陈　岩	大连外国语学院
张　威	清华大学
陆留弟	华东师范大学
庞志春	复旦大学
胡振平	解放军外国语学院
修　刚	天津外国语学院
洪栖川	东北师范大学
高　宁	华东师范大学
高文汉	山东大学
宿久高	吉林大学
谭晶华	上海外国语大学

总序

21 世纪是一个国际化的高科技时代，也是一个由工业社会进一步向信息社会转达化的时代。科学技术的高速发展、新兴交叉学科的涌现、人文文化与科学技术间的相互渗透和融合、社会的信息化以及知识、信息传播技术的日新月异加强了世界各国文化的交流、碰撞与合作。要想在激烈的世界竞争中立于不败之地，就要占领人才培养的制高点，培养出世界一流的高素质、高水平人才。

由于社会对外语人才的需求已呈多元化趋势，以往那种单一外语专业的基础技能型人才受到挑战。今后我们仍然需要培养《源氏物语》的专门研究家，但是高校外语专业的教学必须从过去的“经院式”人才培养模式向宽口径、应用性、复合型人才培养模式转化。社会要的不光是懂外语的毕业生，还需要思维敏捷、心理健康、知识广博、综合能力强的精通外语的专门人才。

我国的外语教学界已充分认识到，对国家建设发展急需的外语专业人才加大培养力度，提高其能力的素质是一项迫在眉睫的任务。随着我国日语专业教学点设置的不断增加和招生规模的逐年扩大，日语专业本科生的教学改革、学科建设及教材出版亦取得很大的成绩，各地先后出版了一批在全国有影响的优秀教材。正因为社会对日语人才的培养提出了更高的标准，同时对日语学科的建设也提出了新的要求，因此，日语本科生教材的编写和出版也应该顺应潮流，开拓创新。

我国外语教材和图书出版的基地、领头羊之一的上海外语教育出版社(外教社)以高度的责任感和高瞻远瞩的视野，在充分调研的基础上，抓住机遇，于2003年8月邀请了全国主要外语院校和教育部重点综合大学日语专业的近20位专家在上海召开了“全国高等学校日语专业本科生系列教材编写委员会会议”。代表们完全认同编写“新世纪高等学校日语专业本科生系列教材”的必要性、可行性及紧迫性，并对编写立意、教材构建、编写审校程序提出了许多积极、中肯的建议和要求。之后，外教社又多次召开全国及上海地区专家学者会议，分头撰写编写大纲，确定教材类别、项目，讨论审核样稿。经过两年多的努力，终于迎来了第一批书稿的付梓。

本套教材共分语言知识、语言技能、语言学与文学、语言学与文化、语言学与翻译(中日对译)、人文科学、经济贸易、测试与教学法等若干板块，可以说几乎涵盖了当前我国日语专业所开设的全部课程。编写内容根据因材施教的原则，

试读结束：需要全本请在线购买： www.ertongbook.com

深入浅出，反映各个学科领域的最新研究成果；编写体例采用国家最新有关标准，力求科学、严谨；编写思想贯彻了在帮助学生打下扎实的语言基本功的基础上，培养学生分析和解决问题能力的原则，全面提高学生的人文、科学素养，养成健康向上的人生观，成为合格的外语专门人才。

本套教材编写委员会云集了我国日语界学者专家，其中不少是高等学校外语专业指导委员会的委员。每一种教材均由编写委员会的专家们仔细审阅后确定，有的是从数种候选教材中遴选，总体上代表了中国日语教材学发展的方向和水平。我们相信，外教社这套“新世纪高等学校日语专业本科生系列教材”的编写和出版，一定会促进和提高我国日语专业本科生教学质量的稳步提高，其前瞻性、先进性和创新性也将为日语教材的编写拓展更为广阔的视野。

谭晶华

上海外国语大学常务副校长

前 言

日语专业教学大纲中指出：教材是师生在教学活动中的依据，选用或编写合适的教材是搞好教学的保证。教材的题材要广泛，并且比例适当，要注重实践性，适当编写包括日本社会、文化、风俗习惯以及科普常识方面的文章。语言要规范、生动、丰富。文章体裁要多样化，掌握好教材的难度。

日语专业高年级教材在过去20多年间出过少量的几套，由于当时日语专业高年级教学大纲尚未制定，现在看来，已出的教材与教学大纲的规定尚有一些距离，也不很符合教学大纲的规定。近年来，随着我国高等教育走向大众化，设置日语本科专业的学校越来越多，各校都急切地期待着高质量的日语专业高年级教材更早更多地问世，以备各大学择优使用。

本套日语专业高年级教材作为本科高年级综合日语课的主干教材，力图贯彻教学大纲规定的要求，编出符合目前日语专业现状的适用教材，既注重语言知识的传授、语言技能的训练，又顾及日本社会、文化的介绍和理解。本套教材的框架设计、布局结构将有助于提高学生的思维创造和分析鉴赏能力。

本套教材经申报，已批准为教育部"十五"重点教材建设项目，谭晶华教授为总主编，第五册由陆静华教授编写，第六册由陈小芬教授编写，第七册由季林根教授编写，第八册由皮细庚教授编写，编成后的油印教材均经过两轮以上的使用，并广泛听取了中、外教师的意见，几经修改而成。

愿本套教材的推出为中国日语专业本科教育更上一层楼贡献绵薄之力，相信我国的日语本科专业建设一定会有更蓬勃的发展。

总主编

2006年6月

编者的话

《日语综合教程》第六册教材的编写工作启动于2002年，先后经过两轮试用和反复修改，历时4年时间，终于和大家见面了。编者衷心地希望本教材能得到广大日语教师和日语学习者的喜爱。

本教材为高等学校日语专业高年级阶段精读课教材，供三年级下学期使用，亦可供具有一定日语基础的自学者使用。

参照《高等院校日语专业高年级阶段教学大纲》的要求，充分考虑到与基础阶段教材及第五册教材的衔接，在选材时编者充分注意到了文章的难易程度和题材的多样化，尽可能地选择一些可读性强，语言表达规范，遣词造句优美的文章。文章的内容涉及日本文化、文学、社会、科学、语言学等不同领域，力求使学生通过本册教材的学习，日语在原有的基础上得到进一步的提高，并对日本的社会风土人情有更多的了解。

本教材有小说、诗歌、随笔和论说文等不同体裁的12篇文章组成。每课分别设有“课文、注释、单词、语句学习、表达学习、练习、文学·语言小知识和阅读”8个部分。语句学习栏目主要用来说明该课课文中出现的语言现象，包括语法、句型、词汇以及某些词组和惯用语。其中大部分内容是在基础阶段尚未学习过的，也适当地编入了一些在基础阶段虽然有所涉及，但理解和应用还不够全面或比较难用的个别语法或词汇。通过这些内容的学习，可以使学生的日语理解和综合运用能力得到进一步的巩固和提高。

本教材新设了“表达学习”栏目。主要选择了一些基础的、已经学过的，但尚未完全掌握，需要进一步归纳、复习巩固的，特别是需要加强应用意识的内容，根据表达的意义分成了若干个专题。当然，编者不可能把有关专题的所有表达方式都归纳到这个栏目中去，只能挑一些基础的、常用的内容。编者还特意在练习里编写了配套的习题，旨在通过反复练习，达到加深理解，增强语感，培养应用意识的目的。“表达学习”中的词语构成部分主要编入了一些复合词或固定搭配词，作为学习的辅助，希望能对学生的日语学习有点启示作用。

各课练习由10个项目组成，大致可以分为两大类。一类是围绕课文编写的

练习；另一类是为了提高学生的日语综合运用能力而编写的练习。练习中设有口头问答题，旨在检查学生对课文内容的理解情况，同时也为学生提供了口语综合表达的机会。编者希望教师在教学过程中能够重视口语练习，教与学双方如能很好地配合，相信学生将会在高年级阶段继续获得良好的口语训练。“文学·语言小知识”和“阅读”栏目的设立，则是为了拓宽学生的知识面，增加阅读量。这可以丰富学生的词汇量，提高阅读同类文章的能力。

本教材选用了森本哲郎、外山滋比古、北村昌美、水上勉、長谷川恒南、山崎正和、中根千枝、三好達治、室生犀星、島崎藤村、茨木のり子、村野四郎、中原中也、吉野弘、小池真理子、池澤夏樹、阿部昭、矢口高雄、芳賀綏、大岡信、星新一、司馬遼太郎、加藤秀俊、内館牧子、老舍（立間祥介）、馮驥才（竹内良雄）、中野孝次、福永武彦等各位先生的作品。

本教材在编写过程中主要参考了原上海外国语大学陈生保教授主编的《日语》第5、6册和日本初高中国语教科书及砂川有里子教授等编著的《日本语句型辞典》等。上海外国语大学日籍专家稲森信昭先生仔细审阅了整部教材，日籍专家永島靖夫先生和本院周平教授等给予了悉心的指导。上海外国语大学的有关领导和日本文化经济学院的领导对本教材的编写工作也给予了关心和支持。三年级教学小组的戴宝玉老师、许慈惠老师、陆静华老师和周星老师也在教材的试用过程中提出了很多中肯的意见和宝贵的建议。

本教材还附有课文的录音，特请吉田清子女士录制。

在此谨向以上各位给予过帮助的先生及女士，一并表示由衷的感谢。

本教材编写过程中，编者尽可能地从教学第一线的角度去思考和编写，但是由于水平有限和时间仓促，教材难免存在错误和缺点，敬请各位批评指正。

最后，向支持本教材编写工作的上海外语教育出版社和责任编辑江龙娣女士表示衷心的感谢。

编　者

2006年12月

目次

第1課　「まあまあ」にみる日本人の心 …… 1
- 本文
- 注釈
- 新しい言葉
- 言葉の学習
  一、ともなく／ともなしに
  二、～はともかく（として）
  三、～ての
  四、しかるべき
  五、ないでは（も）ない
  六、ならぬ
  七、～にしく（名詞）はない
  八、～とはいえ
  九、～つつ
  十、～を前に（して）
- 表現の学習
  一、判断を表す表現
  二、語や語句の構成
  　～あてる
- 練習
- 文学・語学の豆知識　漢字の音の歴史
- 読み物　転石　苔を生ぜず

第2課　自然との出会い …… 35
- 本文
- 注釈
- 新しい言葉
- 言葉の学習
  一、も
  二、～といい、～といい
  三、～ずにはいられない
  四、名詞ひとつにしても
  五、～て(で)ならない

六、今でこそ
七、何を（は）おいても
八、～に至る
九、～にして
十、まさか
◆ 表現の学習
一、根拠を表す表現
二、語や語句の構成
～入り・～が張る
◆ 練習
◆ 文学・語学の豆知識　同音語と類義語
◆ 読み物　自然との触れ合い

第3課　水の東西 …………………………………… 67
◆ 本文
◆ 注釈
◆ 新しい言葉
◆ 言葉の学習
一、いやがうえにも
二、ゆとり（がある／ない）
三、趣向を凝らす
四、～ようにみえる
五、～となく
六、間が抜ける
七、～とみる（みられる）
八、～につけて（は／も）
◆ 表現の学習
一、傾向を表す表現
二、語や語句の構成
～つける・～あげる・～あがる
◆ 練習
◆ 文学・語学の豆知識　四字の熟語
◆ 読み物　外国語の修得と文化の関係

第4課　詩四編 …………………………………… 98
◆ 一、甃のうへ
◆ 二、小景異情（その二）
◆ 三、千曲川旅情の歌
◆ 四、私のカメラ

试读结束：需要全本请在线购买： www.ertongbook.com

◈ 注釈
◈ 鑑賞
◈ 練習
◈ 文学・語学の豆知識　詩の味わい方
◈ 読み物　一、現代詩をどう読むか
　　　　　二、詩二編
　　　　(一)一つのメルヘン
　　　　(二)I was born

第 5 課 東京回顧写真展 ………………………………………… 117
◈ 本文
◈ 注釈
◈ 新しい言葉
◈ 言葉の学習
一、なにかというと
二、何も～ない
三、ためしがない
四、(何の)変哲もない
五、～とも～ともつかぬ
六、～はおろか～も
七、～始末だ
八、～てでも
九、よりに(も)よって
十、～次第だ
◈ 表現の学習
一、時間を表す表現
二、語や語句の構成
　～かける・～ぬく・～あわせる
◈ 練習
◈ 文学・語学の豆知識　各時代の文学の歴史
◈ 読み物　スティル・ライフ

第 6 課 いのち ………………………………………… 153
◈ 本文
◈ 注釈
◈ 新しい言葉
◈ 言葉の学習
一、～としては
二、だに

三、～ようものなら
四、ものを
五、動詞に 同一動詞の可能形 ない
六、～を禁じ得ない
七、～とて
八、～にしては
九、～ところの
十、～たる
◈ 表現の学習
一、気持ちを表す表現
二、語や語句の構成
～果てる・～よく・～並み
◈ 練習
◈ 文学・語学の豆知識　国字と熟字訓
◈ 読み物　まぼろしの〃タカオトンボ〃

第7課 文章について……………………………………………… 187
◈ 本文
◈ 注釈
◈ 新しい言葉
◈ 言葉の学習
一、目白押し
二、べく
三、高が知れている
四、尾を引く
五、～というものだ/～というものではない
六、とかく～（傾向を表す表現）だ
七、とりとめもない
八、つもり
九、それでいて
十、といって
◈ 表現の学習
一、話題の取り上げ
二、語や語句の構成
再～・好～・没～
◈ 練習
◈ 文学・語学の豆知識　原稿用紙の使い方
◈ 読み物　言葉と人格

第8課　企業内の聖人……………………………………217
◈ 本文
◈ 注釈
◈ 新しい言葉
◈ 言葉の学習
一、なんという
二、～のかたまり
三、それはそれでいい
四、となると
五、いくらなんでも
六、～ないまでも
七、なにしろ
八、～しようにも～ない
九、～とばかり
十、ごとき／ごとく
◈ 表現の学習
一、対比を表す表現
二、語や語句の構成
～きわまる・～はずれ・～まわる
◈ 練習
◈ 文学・語学の豆知識　描写の方法
◈ 読み物　たそがれ

第9課　香住から白兎海岸へ……………………………252
◈ 本文
◈ 注釈
◈ 新しい言葉
◈ 言葉の学習
一、何が何でも
二、～ないことには
三、動詞 には 同一動詞 が
四、高をくくる
五、～というところだ
六、～にかぎる
七、～にもまして
八、～ことだ／ことか
九、～てもはじまらない
十、さして～ない
◈ 表現の学習

一、勧誘を表す表現
二、語や語句の構成
～がきく・～目・～由
◈ 練習
◈ 文学・語学の豆知識　紀行文の書き方
◈ 読み物　草原の記——モンゴル紀行

第10課 仮面の思想……………………………………………………… 289
◈ 本文
◈ 注釈
◈ 新しい言葉
◈ 言葉の学習
一、～だけのことだ
二、～を問わず
三、存在
四、そもそも～というものは
五、どちらかといえば
六、手をかえ品をかえ（て）
七、(形容詞）く（も／は）ある
八、こそ　あれ(すれ)
九、～とでもいうべき
十、とすれば
◈ 表現の学習
一、結果を表す表現
二、語や語句の構成
～離れ・～がつく
◈ 練習
◈ 文学・語学の豆知識　故事成語・ことわざ・慣用句
◈ 読み物　絶対値

第11課 らくだのシアンツ ………………………………………… 322
◈ 本文
◈ 注釈
◈ 新しい言葉
◈ 言葉の学習
一、～ようが～ようが
二、～たら(ば)～たで
三、それまで（のこと）だ
四、形容詞連用形する

五、～ようにして
六、（た）ところで
七、これという（いって）～ない
八、～とはいわず
九、瀬戸際
◆ 表現の学習
一、無視・無関係の表現
二、自動詞表現にある可能と受身の意味
三、語や語句の構成
～を食う（食らう）・～をかぎりに
◆ 練習
◆ 文学・語学の豆知識　生活のことば
◆ 読み物　あの人は生きている

第12課 河童の血筋 ………… 354
◆ 本文
◆ 注釈
◆ 新しい言葉
◆ 言葉の学習
一、～には／と　変わり（は）ない
二、動詞でもなく
三、～ないと、～ない
四、ご多分にもれず
五、～に熱を上げる
六、やみくも
七、すなお
八、～に等しい
九、ありうる／ありえる／ありえない
十、底抜け
◆ 表現の学習
一、強調を表す表現
二、語や語句の構成
～返る・～ばむ
◆ 練習
◆ 文学・語学の豆知識　歴史的仮名遣い
◆ 読み物　旅情

新しい言葉リスト ………… 382

第1課

「まあまあ」にみる日本人の心

本文

■ 森本 哲郎

「そいつは、まあ、なんだな……。」、「まあ、いいじゃないか。」、「まあ、一杯。」、「まあ、そんなに遠慮せずに。」、「まあ、待ちなさい。」、「まあ、ひどい！」……。

日本語の中で、いちばん便利な言葉は、「まあ」という慣用語であろう。便利ということは、多義語ということである。つまり、どんな場合にも、いろいろな形で使うことができるということだ。「そいつは、まあ、なんだな……。」というときの「まあ」は、いわば語句の間に挿入される間投詞とみてよかろうが、「まあ、いいじゃないか。」という場合の「まあ」は、相手を促す意味を持っている。次の「まあ、一杯。」も同様だが、こちらの原義は、「先ず。」ということであろう。次の「まあ、遠慮せずに。」「まあ、待ちなさい。」というときの「まあ」は逆に相手を制止する用法で、最後の「まあ、ひどい！」の場合は感嘆詞といってよかろう。

こんなふうに「まあ」はさまざまな形で使われ、しかも、その間に微妙な意味の濃淡がある。更にその「まあ」を二つ重ねて「まあまあ」となると、これはとうてい厳密に意味を分析できない日本語独特の表現となる。「お元気ですか？」ときかれて、「ええ、まあまあです。」と答えれば、特別に異状のないことを表し、「あしたの天気はまあまあでしょう。」と言えば、快晴というわけではないが、さりとて雨が降るほど悪くもないという意味である。強いて英語に訳せば、**not bad**（悪くない）ということになろうか。

「まあ」と同様、「まあまあ」は相手を促したり、制止したりするときにも盛んに使われる。「まあ、ひどい！」と相手が怒った時、「まあまあ、そう怒らないで。」となだめる。相手の「まあ」は感嘆詞だが、それを制止する「まあまあ」のほうは副詞的用法となる。だが、その「まあまあ」も感嘆詞としても使われるのだからなんともややこしい。例えば、「まあまあ、それはよかった！」、あるいは、「まあまあ、そいつはとんだ災難だったねえ。」などというときの「まあまあ」は明らかに感嘆詞といってよかろう。

试读结束：需要全本请在线购买： www.ertongbook.com